

吉野梅まつり

2月11日(日)午前10時～午後3時30分

会場：吉野梅園

主な催し：吉野棒術、臥龍梅太鼓、佐柳獅子舞、
三味線演奏、歌謡ショー、茶会など

*18日(日)・25日(日)、3月4日(日)にも、催しが行われます



臥龍梅太鼓



佐柳獅子舞



華



臥龍梅が咲く名所「吉野梅園」

毎年、2月中旬から3月中旬にかけて梅の花が咲く吉野梅園。開花期には多くの観光客でにぎわい、満開時にはピンクや白といった色とりどりの梅が甘い香りを漂わせます。まだまだ寒い時期ではありますが、一足先に春の訪れを感じさせてくれる、美しい梅の花。心がほっこりと温かくなります。

吉野梅園は臥龍梅や豊後梅、青軸梅、白加賀、寒紅梅などが約450本植えられた、県内でも有数の梅の名所です。中でも、園を代表する梅「臥龍梅」は、今から約800年以上前に太宰府天満宮の梅を持ち帰ったものといわれ、それが梅園の始まりと伝えられています。建久三年(1192年)、藤原信近が都を退き、この地に移り住みました。天満宮を信仰していた信近の子、近里は、山にまきを拾いに行ったときに足をけがしてしまいます。偶然出会った翁の教えに従って太宰府に17日間参拝し、夢に出てきた梅の枝を持ち帰って土に差したところ、みるみるうちに梅が成長し、近里のけがも治ったという言い伝えが残っています。臥龍梅は特別な梅として園内の吉野天満宮の境内に約50本植えられています。またその名は、幹がねじれ、龍が地に臥したような姿をしているところからついたそうです。

毎年行われている「吉野梅まつり」は、今年も2月11日(日)から開催されます。初日は、江戸時代から吉野地区宮尾に伝わる「吉野棒術」や、地元の踊りとして親しまれている「臥龍梅音頭」、300年も前から戸次地区佐柳に伝わる「佐柳獅子舞」なども披露され、梅とともに伝統文化も楽しめる内容となっています。満開の梅を愛でながら、風流な時間を過ごすのもいいですね。

大南支所 ☎5977・1000



大南～「守り継ぐ」という誇り